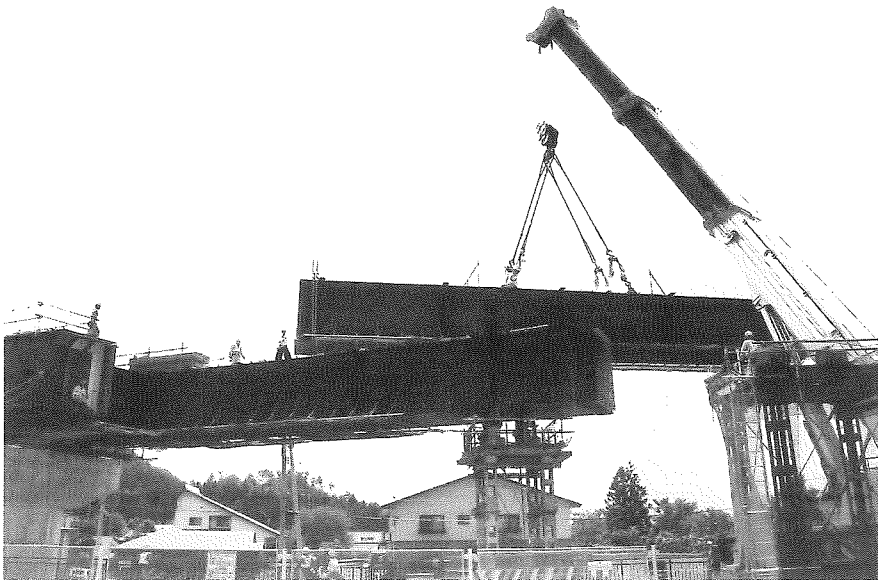


後方は栗子山 上が第四代 下が第三代



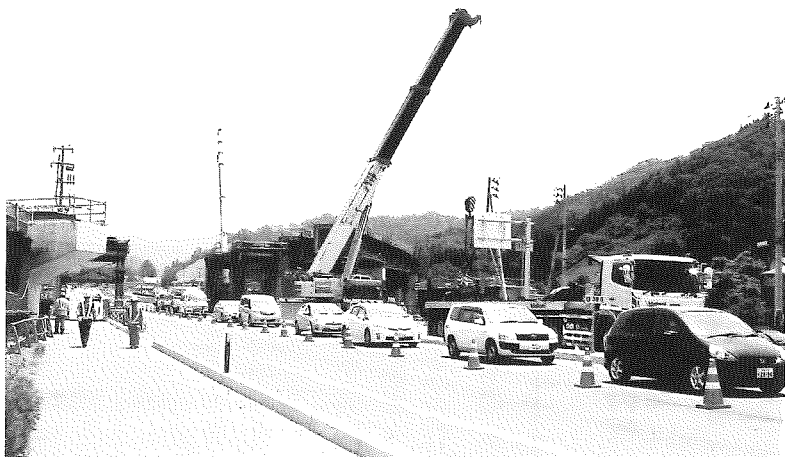
橋桁のブロックを順次つなぎ合わせる

万世大路の第三代と第四代が立体交差

萬世の大路

写真提供 / 古川清志氏
(レストランピッキ石)

第18号
 平成27年12月1日発行
 発行者
 歴史の道 土木遺産万世大路保存会
 会長 田畑 實
 事務局
 万世コミュニティセンター
 ☎0238-28-5381



550トン吊りのクレーン

栗子ハイウェイ(万世大路の第三代)と東
 北中央自動車道(万世大路の第四代)とが、
 桑山地区で立体交差する工事が、平成二十七
 年五月二十七日に行われました。
 新しく施工された万世高架橋は国道十三号、
 県道万世窪田線、市道万世南原線を一つの橋
 でまたぎ、五つの橋脚が立ち、長さが三三六
 mになります。
 国道十三号をまたぐ工事では、四車線の片
 側二車線を通り止めにし、一方の二車線を
 上りと下りに分けて通行させ、工事のため、
 国道十三号を通行止めにするこなくスムーズ
 に工事が行われました。